

第9回東北シニアカーリング選手権大会

(第18回 日本シニアカーリング選手権大会東北ブロック代表選考会)

審判長事前通知

令和2年11月

大会審判長 楠美 ゆかり

1. 大会競技規則について

本大会は（公社）日本カーリング協会競技規則 2018年11月版（ピンク表紙）、および本大会が定める規則によって行います。

2. チームミーティングについて

本大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、チームミーティングを省略します。競技方法等に疑義のある場合は、本通知に記載の東北ブロックカーリング協議会事務局メールアドレスに問い合わせをお願いします。

3. 審判について

本大会の審判は、すべてセルフジャッジにより行います。

- ① 審判員は審判長を除きおりませんので、計測、ホッグラインオーバーを含め、すべて選手が行ってください。不測の事態に備え各ラウンドに競技進行担当者を配置しますが、あくまでもタイマーのセットなど補助的な役割です。
- ② 得点ボードへの表示は、各チームで行ってください。
- ③ 試合終了後のシート清掃は、勝利チームが行ってください。
- ④ 競技に関する問題については、カーリング精神に基づき、両チームで解決するよう努めてください。その他競技規則及びこの審判長事前通知に記載されていない事項が発生した場合は、審判長が判断し対応します。

4. ラインナップカードについて

- ① オリジナルラインナップカード
受付時に大会本部に提出して下さい。
- ② 選手交代用ラインナップカード
オリジナルラインナップに記載されている投球順やメンバーを変更する場合の届け出は、今回は不要とします。試合毎に対戦相手チームに伝えて変更を行ってください。

5. ユニフォームについて

(公社)日本カーリング協会の「ユニフォーム規定」は適用しません。
全員が見苦しくない同系色のユニフォームを着用することを推奨します。

6. 大会で使用するストーンについて

本大会ではセンサー付き大会用ストーンを使用します。センサーのスイッチを入れ忘れた場合は違反ストーン（ホッグライン違反）として取り除かれることとしますが、センサーに異常（不点灯や赤緑の交互点滅）がある場合があるのでホッグライン違反などは相手チームと事前に確認して試合を進めてください。

7. 競技方法について

- ① 試合は、予選ラウンド【男子A、B 2ブロック（各4チーム）、女子A、B 2ブロック（各3チーム）】および決勝トーナメントによる順位決定戦で行います。
- ② 試合エンドは全て8エンドとし、終了時同点の場合はエキストラエンドで勝敗を決します。（最低プレイエンドは設定しません）
- ③ チームによりシート使用に偏りがありますがご了承願います。
- ④ 各ブロックの予選順位は勝数順とし、同率の場合は直接対戦で決定します。それでも決められない場合（三つ巴等）はDSC（男子は3試合のLSDのうち最大値を除く5投の平均値、女子は2試合のすべてのLSD4投の平均値（ワーストカットはしませんので注意してください。））の短いチームの順とします。DSCが同じ場合は、チームの個々のLSDで最も短い記録の順となり、全てが同じ場合はコイントス等で決定します。
- ⑤ 順位決定戦は、男女ともブロック1位どうしが優勝決定戦で対戦し、勝者は優勝とし、敗者が準優勝決定戦に進みます。また、ブロック2位どうしが第4位決定戦で対戦し、勝者が準優勝決定戦に進み、敗者は第4位とします。2位決定戦の勝者は準優勝とし、敗者は第3位とします。また、予選ブロックの各3位どうしで5位決定戦を行います。

8. 試合前練習について

- ① 全ての試合で各チーム5分間とします。試合開始の20分前に実施してください。
- ② 男子はR1第1試合は、トスにより練習の後先、ストーンの色を決定してください。
- ③ R1を除く男女の予選では、プログラム左側記載のチームが先練習、赤ストーン、右側記載のチームが後練習、黄色ストーンを割り当てます。

- ④ 女子は、オンアイスの機会の公平を期すため、予選ラウンドの空きシートで60分間のチーム練習を許可します。時間は各チームで計測のこと。

9. LSDの実施について

- ① LSDを実施する場合、試合前練習後、直ちにLSDを実施してください。LSDはチームの選手2名が1投ずつ行い、先に時計回りから投球してください。2投の合計距離の短いチームが第1エンドの先攻・後攻を選択する権利を有します。合計距離が同じ場合は個別の数値が最も小さい方のチームとし、全てが同じ場合はコイントス等により先攻・後攻を選択するチームを決定します。
- ② 予選ラウンドでは、最低投球数については、各選手1投としますが、チームで2投を投球する選手は、必ず違うターンで投球してください。補欠がLSDを投球した場合は、他の一人の選手の投球に通算されません。
- ③ 計測は、ティーからストーンの外周までの距離とし、ティーに非常に近く計測できない場合は0cm、ハウス内に残らなかった場合は185.4cmと記録されます。
- ④ 低投球数やターンに違反があった場合は185.4cmと記録されます。

10. 2位決定戦のストーンの割当て、先攻・後攻について

- ① 予選ラウンドで同一ブロックのチームによる対戦の場合、チームの勝敗の記録が勝っているチームがストーンの色と先攻・後攻を選択します。チームの勝敗の記録が同一のとき、予選ラウンドの直接対決で勝ったチームがストーンの色か先攻・後攻を選択します。LSDは実施しません。試合前練習は後攻が先練、先攻が後練となります。
- ② 予選ラウンドが異なるブロックのチームによる対戦の場合、DSCの短いチームが試合前練習の後練先練かストーンの色を選択し、試合前練習後直ちにLSD（このときのLSDは最低投球回数に含めず、異なる試合で同じ選手が同じターンで投げても構わない。）を実施し、先攻・後攻はLSDにより決定します。

11. 計時について

- ① 大会は計時を行いませんので、速やかな試合進行に努めてください。（会場に設置のタイマーを99分にセットし、タイマーが0分になった時点で6エンド終了を目安にしてください。）
- ② 4エンド終了後、5分間のハーフタイムを設けます。計時は行わないので、それぞれのチームのストップウォッチを使用してください。

12. チームタイムアウトについて

本大会は、チームタイムアウトはありません。

13. アイスについて

- ① 選手は用具、手あるいは体でアイスにダメージを与えてはなりません。
- ② アイスメイクは、アイスマンの判断により行います。また、試合中でも先に試合が終了したシートのアイスメイクを行うことがありますので予めご了承ください。
- ③ 選手がアイスメイクの補助を行う場合がありますが、本大会ではこれを許可します。

14. スウィーピング用具について

スウィーピング用具については、WCF 認定ブラシパッドを使用してください。

（「日本カーリング協会」ホームページ中、「JCA 専門委員会から」「競技委員会からのお知らせ」を参照のこと）

15. その他（コロナ対策等）

- ① 試合状況により時間が変更になる場合もあります。余裕を持って集合して下さい。
- ② 参加選手および関係者は、新型コロナウイルス感染症予防対策について、（公社）日本カーリング協会および青森県カーリング協会から通知されている事項に留意し、施設管理者の指示を遵守して感染拡大防止に努めてください。
- ③ 体調がよくない場合等感染が疑われる場合は、チームは出場を見合わせてください。
- ④ 試合中のマスクの着用は求めませんが、飛沫防止に留意し、試合時以外のマスクの着用は確実に行ってください。
- ⑤ 施設管理者が定める健康チェックシートに必要事項を記入し、チーム分をまとめて3日間、毎日大会本部に提出してください。
（様式は、みち銀ドリームスタジアム受付にあります。検温は本部備付体温測定器をご利用ください。）
- ⑥ 試合終了後、ストーンバンドルの消毒を両チームで行ってください。
- ⑦ コーチ席は設けません。控え選手とコーチはあらかじめ決められたゾーンに蜜を避けて着席してください。（マスク着用のこと）

16. 問い合わせ先

東北ブロックカーリング協議会事務局：夏井坂泰基

E-mail：tohoku.curling@gmail.com